

保健福祉課

インフルエンザの 注意喚起を

竹田委員 国保病院では、外来の際アルコール消毒やマスク着用などのサービスの対応策をしていますが、他の公共施設でもできませんか。

また、インフルエンザが流行する時期は、防災無線による注意喚起も検討してください。
加藤保健師 病院では感染予防の観点で実施していると思います。厳密にいきますと、他の感染症を含め、アルコール消毒、マスク着用だけでは不十分で、手洗いとうがい効果的です。設置については、それらを含め協議が必要と考え、町民への注意喚起は検討していきます。

医療送迎バスの サービス向上を

手塚委員 医療送迎バス運行経路は、変更がないとのことですが、停留所の関係で乗りたくても利用できないとの声も聞いています。対応できる範囲で変更できませんか。

名須賀保健福祉課長

利用者からの要望は何件か聞いており、対応できるものは変更し運行をしています。今後利用者からの聞き取りを行い利便性の向上に努めていきます。

まちづくり新幹線課

いさりび応援隊の 負担金は

竹田委員 いさりび鉄道応援隊に係る負担金10万円の予算計上について、事業内容や効果を説明ください。

福田まちづくり新幹線 課長 負担金内訳につ

いては、函館市と北斗市も各10万円で計30万円、そのほかにも地域づくり総合交付金30万円があり合計60万円の活動費となっています。また、費用内容については、関係町の委員に係る費用弁償等の活動費です。今後4月に予算や事業計画の承認を受ける予定としています。

審査を振り返って

予算等審査特別委員会
委員長 **平野 武志**



平成28年度の予算編成は、町長の改選期であり骨格予算（※1）での審査となりました。

新幹線関連工事も完了し、昨年と比べ約4億円の歳入減となっています。現在の町財政は、安定していますが、国の交付金頼みの行政運営は変わらず、今後人口減少が進むことを考えると決して安心はできません。

北海道新幹線の開業効果を活かし、まちの活性化を図るのはもとより、早急な人口減少対策や将来に向け、町独自の歳入増を構築していく必要があると考えます。

町長の改選も終え、5期目の大森体制が決まりました。経験を活かし出馬の公約で示したとおり覚悟を決めて木古内町の明るい将来へと邁進して欲しいと思います。

今後の臨時議会、6月の第2回定例会で、先送りしていた政策的事業を上程すると常任委員会でも公言しておりますので、特に人口減少対策の「斬新かつ効果的」な施策が提案されることを期待いたします。

町民の皆様におかれましては、ぜひ今年度の議会に注目し、多数の方が傍聴に来られることをお待ちしております。



新幹線と同時に開業した「道南いさりび鉄道（ながまれ号）」

（※1） 首長選を控えた自治体が、最低限必要な経費を盛り込んで編成する予算。